

第 84 回 ITER 機構職員募集説明会での Q&A

1. 日時・場所

平成 27 年 9 月 9 日（水）、10 日（木）、11 日（金）

静岡大学静岡キャンパス 共通教育 A 棟 2F（日本原子力学会「2015 年秋の大会」展示ブース）

2. 来訪者：40 名程度

3. 説明概要：日本原子力学会「2015 年秋の大会」の展示会場において、ITER に関するポスターを展示し、来訪者に ITER に関する資料を配布して ITER 計画について説明及び ITER 機構職員募集を行った。

（ITER 計画管理グループ 西野、林）

4. 主な Q&A

Q：ITER サイトはどこにありますか？

A：ITER の建設サイトは、国際的な観光地としてよく知られた南仏プロバンス地方にあります。サンポール・レ・デュランスという市に有り、フランス原子力庁カダラッシュ研究センターに隣接しています。最寄りの国際空港はマルセイユ空港となります。マルセイユからカダラッシュまでは 70km ほどあり、車で約 1 時間かかります。

Q：国内機関とはなんですか？

A：ITER 協定の加盟国は、それぞれ分担する ITER の機器を、それぞれの国内機関を通じて物納することになっています。日本政府は、ITER 協定の発効時に、原子力機構を我が国の国内機関に指定しました。原子力機構は、我が国が分担する物納機器を調達すると共に、日本における公募の窓口として、イーター機構による職員公募の事務手続きを支援しています。

Q：ITER 機構では、何人くらい日本人が働いていますか？

A：日本人は、ITER 機構職員合計 636 人のうち、専門職員（経験のある技術者・研究者）20 人、支援職員（秘書、CAD オペレーター等）6 人の計 26 人が働いています。（2015 年 7 月末）

Q：ITER 機構の給与はどのくらいですか？

A：ITER 機構の職員の基本給は、「グレード」+「等級」で規定されます。グレードと等級はポスト、責務、職務経歴に準じて規定されます。グレードは 2 種類：P は Professional（専門職）、G は General（一般職または支援職）です。等級は、1 から始め、最大約 12 等級まであります。

基本給の他、家族手当（世帯及び教育手当）や社会保障、赴任までの支援など、充実した福利厚生が提供されます。

Q：ITER 機構に採用された場合、働ける期間は決まっていますか？

A：契約期間は予め5年間と規定されていますが、評価や実績により、更新される方も少なくありません。また、最初の契約を終えた時点で、グレード・等級が別のポストに応募する方もいます。

Q：今は大学院生ですが、卒業後にITERですぐ働くことは可能ですか？

A：大学新卒でのIOへの就職はほぼありません。専門職員であれば、少なくとも3年の実務経験がもとめられますので、企業、民間の会社や研究機関で実務経験を積んでからITER機構の職員になるというのが普通です。一方、モナコが出資して参加極からポスドクを募集する制度があります（ポスドク・フェローシップ）。職員募集ではありませんが、学生の方々にも門戸は開かれており、ぜひ応募を検討して頂きたいです。2年間ITER機構で実際にITERを研究開発している先進の科学者・エンジニアの下で核融合研究プログラムに参加する機会です。2年毎に募集されます。応募するためには、応募締切日より2年前以内に博士課程を卒業していることが必要です。

Q：ITERサイトの建設状況はどのようになっていますか？

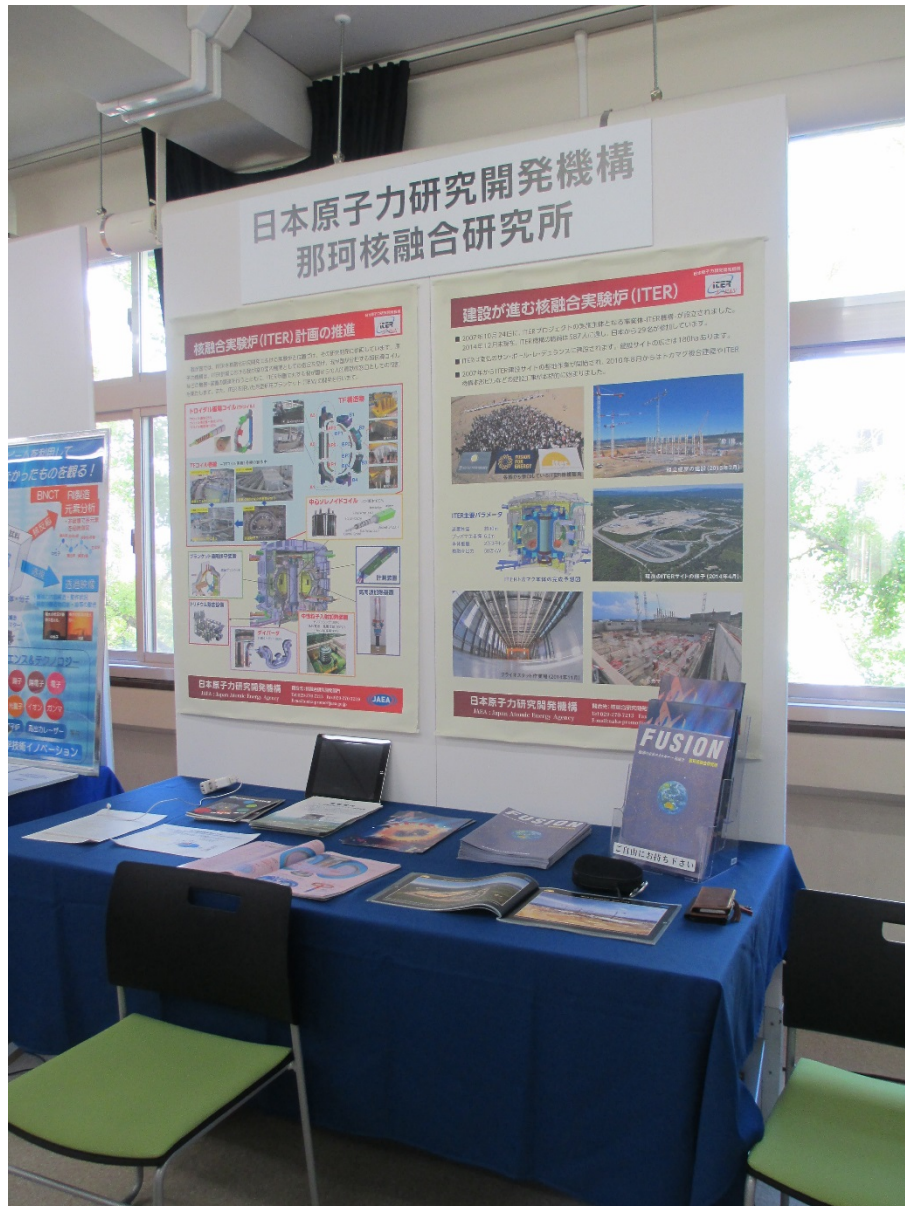
A：ITERは、2022年に最初のプラズマを点火することを目指して、装置建設が進んでいます。現時点で完成しているのは、ポロイダル磁場（PF）コイル建屋、クライオスタット作業場と本部ビルです。トカマク建屋、組立建屋、クライオスタット組立建屋については現在建設中で、トカマク建屋については、基礎工事と地下2階の工事が完了しています。また、トカマク建屋の地下1階の工事が始まり、トリチウム建屋側の外壁が完成し、内壁と柱の作業が継続されています。さらに計測建屋エリアでは、次のレベルのフロアの据付作業が開始されました（地下1階を支える柱工事）。この後、順次地下から上の階（最上階は5階）まで、フロア毎に建設が進んでいく予定です。組立建屋の南側の作業が間もなく完了し、その後地上で組み立てた鉄骨製の屋根が指定位置に持ち上げられる作業が開始されます。PFコイルの製造準備も進められています。（下記写真）

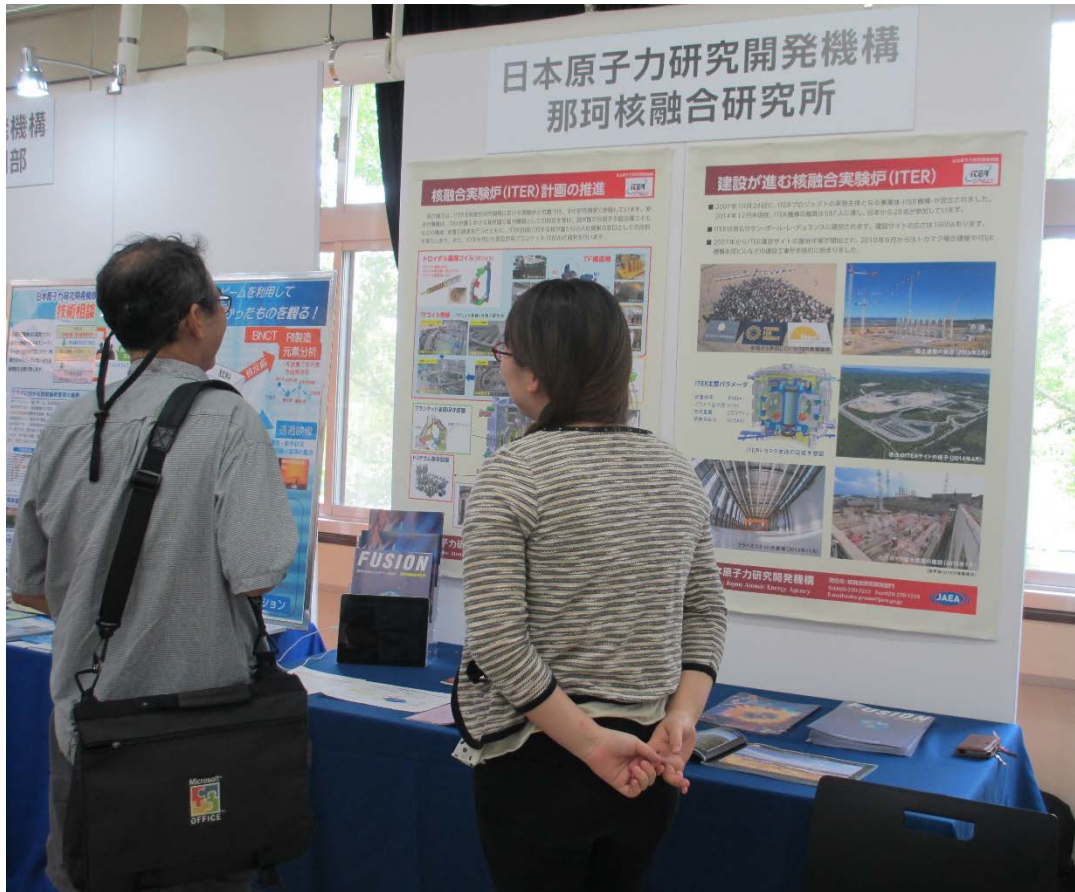


Q：原子力機構の登録制度とはどんなものですか？どのようなメリットがありますか？

A：原子力機構では、募集情報提供のための登録制度を設けており、登録者の方には最新募集情報や

ITER News line の配信、ネイティブによる応募書類の英文添削、面接の支援など、全面的なサポートを行っております。面接の支援の一環としては、模擬面接ビデオの閲覧、面接英語のトレーニングなど面接に役立つような支援を実施しています。ぜひご利用ください。登録料は一切かかりません。配信不要であればお電話、メールでその旨ご連絡いただければ、即解約もできます。





展示ブースの様子